

第19回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 平成8年3月15日（金）10：00～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

- （1）今後の原子力政策の進め方について
- （2）依田委員の海外出張報告について
- （3）その他

4. 審議事項

- （1）今後の原子力政策の進め方について

標記の件について、委員長から、3月12日に内閣総理大臣より、原子力政策に関する国民的合意の形成を図るための具体策を検討するようにとの指示がなされたことを踏まえ、原子力委員会に「原子力政策円卓会議」を設置すること等について説明がなされた。

これに対し委員より、

- ・高速増殖原形炉「もんじゅ」の2次系ナトリウム漏えい事故に関し、原子力に対する不安感が生じていることを真摯にとらえ、良質な情報を国民に伝え、原子力政策について十分議論していく場として、原子力政策円卓会議を精力的に運営して参りたい。
- ・原子力の使命、位置づけのみならず、原子力には幅広い重要な基本的な技術、未来を創造する技術が含まれていること等を国民に伝えたい
- ・総合科学技術である原子力の研究開発利用は、人類社会や自然環境と調和していくことが重要である。
- ・原子力政策円卓会議では、我が国のみならず人類全体が直面しているエネルギー問題、自然環境と原子力の役割について検討する場としても生かしたい

等の意見が出された後、「原子力政策円卓会議」の設置が決定され、文書で内閣総理大臣に報告するとともに、原子力委員会委員長談話を発表することとした。

- （2）依田委員の海外出張について

標記の件について、依田委員より平成8年3月5日（火）から13日（水）までの9日間、米国ローレンス・リバモア国立研究所及びアルゴンヌ国立研究所における意見交換並びに「第4回原子力工学国際会議」

(I C O N E - 4) への出席及び招待講演に関する報告があった。